

2021年6月9日

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則
(JASDAQ・コード番号2498)
問合せ先 取締役統括本部長 森 田 信 彦
TEL 03-6311-6641

株式会社オリエンタルコンサルタンツ 建設技術公開「EE東北'21」に出展

当社グループの基幹会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）は2021年6月2日(水)～6月3日(木)の2日間、みやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」（宮城県・仙台市）で開催された建設技術公開「EE東北'21」に出展いたしました。

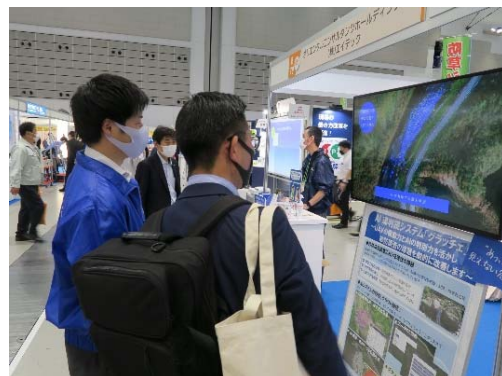
出展 934 技術、総来場者数 9,900 人でした。今年度は、感染症対策に配慮し、ブースでは説明員 1～2 名で対応、アルコール消毒など定期的に行いながら来場者へ説明を実施しました。

同社の出展ブースでは、石礫自動判別クラウドサービス「グラッチェ」、インフラマネジメント支援システム（橋梁版）、土砂災害に対する避難支援などのサービスを紹介し、行政、企業、学校関係者など 255 名にご来場頂きました。

また、今回の出展は株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングスとして、株式会社エイテック、株式会社アサノ大成基礎エンジニアリングを加えたグループ企業 3 社で共同出展しました。各社の技術を合わせたパンフレットの作成・配布を行い、グループ連携のアピールも実施しました。

《開催概要》

主催 催 日 時 場
開 催 日 時 場
会 場
： EE 東北実行委員会（委員長／東北地方整備局企画部長）
： 2021年6月2日(水)～6月3日(木)
： みやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」屋内展示場及び屋外展示場
〒983-0001 仙台市宮城野区港3-1-7



【 出展パネル 】

石礫自動判別クラウドサービス「グラッチェ」

AI 礫判読システム「グラッチェ」

～UAVの機動力とAIの判別力を活かし
砂防調査の課題を劇的に改善します～

◆砂防深流調査における現状の課題
 悪化する豪雨災害・土砂災害に対応するため、早期の災害実態把握・対策、作業員の安全確保を実現し、砂防調査の技術革新が求められています！

- 調査工程の短縮：調査範囲が広く作業量が大
- 調査精度の向上：作業員による計測精度のバラツキ
- 作業員安全確保：現地調査は常に危険と隣り合わせ

◆本システムの特徴(クラウド機能)
 専用ソフト不要、UAV撮影後、全ての作業をWebブラウザで行うことができます！

- 石礫自動抽出・経年変化管理
- データDL機能
- 初期画像・点群データ等自动生成
- グラフ・レポート作成機能

◆システム活用のメリット

- 作業時間、人件費の削減
- 調査データの品質向上
- 発注者等との情報共有の迅速化・効率化

◆弊社実績
 国交省、自治体で多数実績あり！
 AIによる砂防調査結果 (上: 1月撮影、下: 9月撮影)

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ | SkymatiX

土砂災害に対する避難支援

ジャパンレジリエンスアワード 最優秀レジリエンス賞受賞！

土砂災害警戒情報支援システム

～情報の見える化で防災行政を支援します～

◆防災行政における現状の課題
 近年の気候変動等により、土砂災害発生のリスクが高まっています！

- 行政の課題：住民がわかりやすい知識・情報の提供
- 住民の課題：自らの判断のもと情報を参考とした避難行動

◆本システムの特徴

- いつ頃、どの地区が、どの程度、土砂災害の危険性が高まるか見える化！
- 既往の避難行動計画の有効か検証が可能！
- 防災行政の体系的な変換！

奥多摩町 土砂災害警戒情報システム

地図上の任意の地点をクリックすることで、ピンポイントの「土砂災害警戒情報」、「積算降水量」をグラフ表示。

「情報の見える化」で現象を専門としくなくても客観的な判断が可能！

過去災害をシステムに反映させ、訓練を実施し、有効性を検証できます！

システムを用いた情報伝達訓練

個別に実施されていた土砂災害のソフト防災の内容を体系化し、PDCAサイクルを確立、地域防災力の向上が期待できます！

★ジャパン・レジリエンスアワード2019・2020で連続受賞！

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ | オリエンタルコンサルタンツホールディングス

インフラマネジメント支援システム(橋梁版)

インフラマネジメント支援システム(橋梁版)

～自治体の効率的かつ効果的な公共施設マネジメントを支援します～

◆システムの特徴

特徴1: 予算と工事費の乖離を減少！
 過去の実績をベースに単価と補修数量を設定！

特徴2: 修繕工事等の実施計画作成作業を効率化！
 職員の手で実施計画の修正がカンタン操作！
 ◆ 簡易の簡単な修正で、グラフにも連動して自動更新

特徴3: 点検結果更新の円滑化による更なる効率化！
 点検システムとの連携による効率化が可能！
 ◆ 「点検記録様式」を簡易な操作で取り込み(タブレット入力にも対応)

インフラマネジメント支援システム(橋梁版)とCheck Note Plus(橋造物点検システム)の連携

維持管理の体系図

計画(マネジメント)領域

現場実務領域

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ | オリエンタルコンサルタンツホールディングス

以上

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

TEL : 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011

URL : <https://www.oriconsul.com/>

統括本部 宮内、丸山